

令和4年度の重点課題

- 5年男子
「握力」において、県平均値かつ全国平均値より低い。
- 5年女子
「ボール投げ」において、県平均値かつ全国平均値より低い。
- ED率が21.8%で、昨年度の21.6%とほぼ変化が見られない。
- AB率が42.9%で、昨年度の47.3%から低下している。
- 職員間で体力向上への意識に差がある。

上記の課題を受けて具体的に取組んだ事項

- 縄跳び検定の内容を見直し、さらに取組を続けて、跳躍力や走力の向上を図る。
- 週に1回三ツ城タイム(体育朝会)を行い、運動の楽しさを味わわせたり遊びやボールの投げ方等を紹介したりして、運動に慣れ親しませる。
- 教室空っぽデーを設け、休み時間に外遊びををする児童の増加を図る。
- 家庭学習で柔軟体操や腹筋運動など、体力アップの項目を設ける。
- 職員研修を行い、縄跳びやボール投げの指導法について交流する。また、運動の取組ませ方について共通認識をもてるようにする。

令和5年度新体カテストの結果 県平均値(令和4年度)・全国平均値(令和3年度)との比較

男子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点	女子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点
第5学年	16.65	21.13	35.98	39.04	45.81	9.23	150.73	24.90	54.58	第5学年	15.53	21.98	39.47	36.67	39.08	9.40	142.53	14.08	55.95

県平均値かつ全国平均値未満

令和5年度新体カテストの結果 県平均値(令和5年度)・全国平均値(令和4年度)との比較

男子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点	女子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点
第5学年	16.65	21.13	35.98	39.04	45.81	9.23	150.73	24.90	54.58	第5学年	15.53	21.98	39.47	36.67	39.08	9.40	142.53	14.08	55.95

県平均値かつ全国平均値未満

運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか

男子	好き	やや好き	やや嫌い	嫌い	女子	好き	やや好き	やや嫌い	嫌い
第5学年	67.0	27.0	4.0	2.0	第5学年	68.0	29.0	3.0	0.0

学校独自の意識調査

男子	好き	やや好き	やや嫌い	嫌い	女子	好き	やや好き	やや嫌い	嫌い
第3学年	69.0	25.0	1.0	5.0	第3学年	66.0	25.0	7.0	2.0
第4学年	73.0	17.0	8.0	2.0	第4学年	53.0	36.0	9.0	2.0
第5学年	67.0	27.0	4.0	2.0	第5学年	68.0	29.0	3.0	0.0
第6学年	71.0	24.0	5.0	0.0	第6学年	58.0	39.0	3.0	0.0

重点課題に対応した改善する取組内容及び方法

体育の授業で行う取組内容

- 【情意面】
○体を動かすことが楽しいと思える単元計画や、1単位時間の授業を構成することで、児童全員が運動することへの喜びを感じることができるようにする。
- 【体力面】
○縄跳びの学年目標級をクリアできるように、縄跳びタイムを取り入れ、全員で取り組む時間を設けることで、跳躍力や走力の向上を図る。
○全員が参加できる授業の構成と1単位時間の授業あたり20分以上の運動量の確保を行うことで、運動の機会を保障する。

体育の授業以外で行う取組内容

- 【情意面】
○体育委員会が中心となって、全校遊び・縄跳び検定の日など、体を動かす機会を設ける。
○「ペットボトル投げ」「ストレッチの場」を中庭に設けるなど、すぐに体が動かすことができる環境設定を行う。
- 【体力面】
○週1回の三ツ城タイムで15分の運動量を確保し、持久力・跳躍力・投力等などの運動を取り入れることで、基礎的な体力を高めることができるようにする。

重点課題

情意面での課題

- 男子
・運動やスポーツをすることが好きと答える児童の割合が、9.6%減少した。
・昨年比で、高学年において、好きと答える児童が減少傾向にある。
- 女子
・昨年比で、高学年において、好きと答える児童が減少傾向にある。
- 全校児童
・縄跳びや外遊びに取り組む児童の割合が、高学年になるにつれ、減少傾向にある。(寒い時期になると特に減少する。)

体力面での課題

- 5年男女では、特に「立ち幅とび」において、県平均値かつ全国平均値より低い割合が大きい。
- 小学年では、「握力」において、県平均値かつ全国平均値より低い。

令和6年度の重点目標値

- 「立ち幅跳び」において、県平均値かつ全国平均値以上にする。
- 新体カテストの総合評価において、AB率を50%以上、DE率を20%未満にする。
- 「運動やスポーツをすることが好きですか。」の項目に対する肯定的評価の割合を、90%以上にする。